

津妙法寺に移り、又加賀淨住寺・越中光嚴寺に轉じ、文化十三年八月二十三日大乘寺を董し、文政三年十一月九日五十八歳で方丈に寂した。天龍常に龍字を書いて人に與へたが、その書体は線を結ばず、結ぶ時は働き得ぬとしたのである。大旱の時大乘寺に祈雨を行ふも、亦この天龍に始るといふ。

ツカガタ 物價方 天保八年十二月十二日の令によつて加賀藩に置いた役所。去年非常の凶作によつて、諸物價の高低一樣でなくなつたから、その調節を試みたものである。十三年四月廿七日廢止、御勝手方に併合した。

ツカヨミ 二日讀 藩政時代に、金澤では町民の守るべき法度の徹底を期する爲、各種法令中から拔萃せられた御條類書が作られ、毎月二十人組をいくつか併せた組合毎に集會し、組合頭がそれを讀み聞かせるをいうた。二日讀は、延寶六年十月廿八日町奉行から實施すべきことを命じた趣が見え、明和・安永の頃にも盛に行はれたが、寛政四年には近來その等閑になつたことを責められて居り、享和三年・天保六年にも勵行を促され、遂に一時中絶したのを安政三年再び初め、後兩三年にしてまた止んだ。御郡に在つても同じく延寶六年から起り、その御條類書も残つてゐるから、一時行はれたことは確實であるが、百姓を定時に集會せしめることは困難でもあり、又讀聞かせても解し得ぬものが尠くないから、間もなく止んだのであるまいか。

↓マチカタツカヨミサダメガキ 町方二日讀定書。
ツカンエトウ 佛關惠透 石川郡曹洞宗大乘寺五十五代の住持。弘化三年正月十日寂。

ツガンジ 佛願寺 江沼郡四十九院にあつて、眞宗東派に屬する。

ツガンジ 佛願寺 河北郡遠塚に在つて、眞宗東派に屬する。もと同郡狩鹿野の道場であつたが、明治二年寺號公稱の許可を得、二十九年六月今の地に移つた。

ツキガク 服忌學 湯淺祇府は博學宏才であつたが、殊に服忌の事に詳しかつた。故に門人等相集つて、服忌一斑から、種々錯雜したる親族關係のことを論辨して服忌學と稱した。

ツキセンサク 服忌穿鑿 一冊。加賀藩に於ける服忌に關する布達、幕府の例等を記し、天和三年より延享四年に至るものである。
ツキニツスウルイヒヨウ 服忌日數類表 一帖。嘉永二年高木祐平著。五十日十三ヶ月の重き服忌から、無服忌の親族までを類聚して、檢案に便したものである。

ツゲンジ 佛眼寺 金澤上新町に在つて、眞宗西派に屬する。明治十一年寺號公稱を許され、三十六年大衆免片原町から今の所に移つた。

ツコウジ 佛興寺 江沼郡山田の東山田にあつたといふ。江沼郡在々所々記に、寺山といふ所に佛興寺の跡が在るとある。
ツサンカイ 佛山海印 金澤曹洞宗寶圓寺廿四代の住持。生國は越中。寛政九年十一月富山光嚴寺から進山し、享和元年三月廿一日現任中遷化した。

ツシガノ 佛師ヶ野 能美郡山上郷に屬する部落。寛永十九年六月六日附河原山村惣百姓中充所の文書に『加州能美郡之内河原山村、依爲國堺諸役免除如件。』といふの

がある。國堺は越前藩御預領と加賀藩との境界の意だから、當時河原山の先の佛師野の部落は、未だ存在しなかつたのであらうと思はれる。

ツシヨウジ 佛正寺 能美郡中(部落名)の山地で、遊泉寺と界する所を佛正寺山といひ、佛正寺といふ伽藍があつたといふ。今土壁の遺址を見る。
ツシヨウジ 佛照寺 鳳至郡興徳寺(部落名)に在つて、眞宗東派に屬する。

ツシヨウジ 佛性寺 河北郡宇氣に在つて、眞宗東派に屬する。もと同郡余地に居たが、明治十二年三月寺號公稱の許可を得、大正五年三月今の地に移つた。
ツシヨウジ 佛性寺 鳳至郡石井に在つて、眞宗東派に屬する。

ツシヨウジ 佛乘寺 鹿島郡德善に在つて、眞宗東派に屬する。
ツシヨウジヨウ 佛性寺城 ↓カネマルジヨウ 金丸城。

ツシンドウカイ 佛心道海 石川郡曹洞宗大乘寺六十代の住持。鳳至郡劍地の人。穴水瑞源寺廿一代佛宗道安に受業、後に長州功山寺松堂に傳法し、遠州飯田崇信寺・長府功山寺に歴住して、文久三年終に大乘寺に入り、明治五年冬退隱の上衆寮に長養し、廿四年四月廿七日寂した。

ツセン 佛仙 ↓クロセヤブツセン 黒瀬屋佛仙。
ツダイジ 佛大寺 能美郡德橋郷に屬する部落。諸書に佛大寺があつたから村名となつたとあるが、佛大寺は佛陀寺の誤である。しかし正保・寛文・貞享の高辻帳には既に佛大

寺村となつてゐる。能美名蹟志に、『佛大寺村は古名を南坪野村といふ。昔佛大寺といふ寺あり。故に村名とす。佛大寺は大元和尚の開基のよし傳言す。』と見え、寶永記に『佛大寺村に遣水山の觀音堂として、泰澄大師の自作十一面觀音の木像あり。天元和尙開基の由言傳ふ。』ともあり、大元も亦大源の誤である。三州奇談に、『普陀落の普通閣佛代寺といふ靈山あり。此近地にての靈異の地にして、女人上山することを禁ず。』とある佛代寺も亦誤たることは同じい。

ツタイセキ 佛体石 珠洲郡北方領の前山、及び出田領なし山から産する小石で、一に佛石ともいふ。三日月日記に『上戸村に着く。佛山といふあり。そこにありとある石ども皆佛の形なり。されば草木國土悉皆成佛の形をあらはすかと有難し。』とある。↑ネブリイン砥石。

ツタジ 佛陀寺 能美郡佛大寺(部落名)にあつて大鷲山と稱した。本朝高僧傳に、宗眞字は大源、峨山紹領から洞上の宗訣を傳承して、總持寺三代となり、後加州佛陀寺に住したと記し、又太容梵清は應永廿九年佛陀寺から總持寺に上つたとある。

フテソメ 筆染 鹿島郡笠師保に屬する部落。
フテソレキ 符天曆 二冊。西村篤行が推歩した曆法を編述したものである。

フト 風戸 フト 羽咋郡懸懸郷に屬する部落。
フドウ 不動 能美郡金平の内の小字。
フドウイケ 不動池 ↓ピワガイケ 琵琶が池。